

視聴覚教育

NO. 339

発行日

20.1.10

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚用語

「HD DVD」
DVDの後継となる大容量光ディスク。読み出し専用規格で1層15G、2層で30Gの容量を持つ。ブルーレイディスクとは対照的に、現行のDVD規格と高い互換性がある。

実践報告II

学ぶ力を鍛えるメディアの活用

竜海中学校 佐渡英彰

本校では、11月20日授業研究協議会を行った。どの教科も「学び取る力」「学び込む力」「学び抜く力」という三つの学ぶ力を向上できるような授業展開を工夫し研究を進めてきた。当然その中には効果的な視聴覚メディアを使う場面も増える。公開授業当日には、次のような場面での視聴覚メディアの活用が行われた。

- ・ コミュニケーションタイムにおいて、再編集した「国境なき医師団」の映像を視聴し、討論の問題提示を行った。

- ・ 歴史の学習で、「洛中洛外図屏風」をパソコンに読み込み、ポイントになる部分だけ編集した静止画で、室町時代の民衆の様子を読み取った。

- ・ 理科の学習で天体の動きをあらわすシミュレーションソフトやデジタル画像を利用し、天体の時間的、空間的な概念を認識できるようにした。



- ・ 英語の学習で生徒の書いた英作文を教材提示装置で大きく画面に提示し、修正を行った。

- ・ 体育のバスケットボールの授業で、自分たちのゲームのVTRを視聴し、ゲーム分析を行い次時の練習や作戦に生かした。

魅力的な授業づくりのために、視聴覚メディアの活用が不可欠であるということを実感した研究会となった。

改めて、十分な授業実践を

現職研修委員会学習情報部長 山田賛平

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては平成20年の新春を迎え、決意も新たにそれぞれの職場、団体で活動をスタートしてみえることと存じます。

今年の抱負の中心は何といつても「視聴覚教育総合全国大会」です。平成21年秋の開催を目指して、関係各位の格別のご尽力で実行委員会が立ち上がりました。愛知県大会ですが、三河部、特に岡崎、豊橋、豊田の3市が中心となつて進めます。平成20年はその土台作り、主たる実践の年といえます。

大会開催の一端を担っていくにあたって、一番の思いは「授業実践の充実」です。メディアの著しい進展によって、次々に出てくる先端機器などの機能理解や操作技能の習熟、利用環境の目まぐるしい変化に振り回されてしまうのではなく、腰を据えて、メディア活用の在り方を探っていききたいと思えます。あわせて、最先端のメディアをどう利用していくか、積極的な提案を示していきたいとも思っています。

昨春秋、本年度の全国大会・東京大会で、藤川小学校の研究主任・本田教諭が分科会提案を行いました。相次ぐ質問のほとんどは「なぜ学校体制で研究を進めることができるのか」でした。一通りの説明を試みても、なかなか納得されません。何か特別なことがあったに違いないと。助言者の大学教授からも同じような質問が出されてやや戸惑いました。このような大会でなされる提案の多くは特定のメディアに的を絞った実践発表が多く、学校体制でさまざまなメディア利用の実践研究を論じられることが、実は数少ないことであつたのかもしれない。

これは、教育風土に大きな違いがあるのではないかと考えさせられました。私たちの地域には、共通の研究テーマに沿って、学校の教職員全員がそのテーマに関する実践に取り組むことをスムーズに実現できる、恵まれた教育活動の土台があります。大変ありがたいことなのだと考えるようになりました。

今年が、実践活動を十分に進められる年になつてほしいと思えます。授業公開の各小中学校をはじめとする大会実行の関係諸氏にとって、充実した一年になることを願っています。

|| レッツ・トライ ||

オートシェイプ機能の活用

ワードやエクセルには、オートシェイプという図形描画機能がある。四角形や三角形など様々な基本図形が用意されているが、図形の塗りつぶし効果で画像を挿入することができる。また、枠線の色や太さを変えることもできる。文字の入力もソフトキーボードで行えば、比較的簡単に図形を作ることができる。

教室にはデジカメを数台置き、子どもが日常の様子を撮ったり、教師が行事や学習の様子を撮ったりして記録をとり続け、前年度は、三学期の総合学習の時間に、一年の歩みとして作品制作を行った。



月ごとに保存しておいた画像を見て様子を思い出したり、話し合ったりしながら、楽しく取り組むことができた。オートシェイプの重ね方を工夫し、新しい図形を考える子もいて、制作する過程でどんどん工夫していった。

どの学校でもデジカメを使用する機会が増え、四月から撮りためてきた膨大な画像がきつとあるだろう。一年を振り返るこの時期に、多くの先生にお勧めしたい方法である。

(六ツ美中部小 学習情報主任 三輪 恭之)

ライブレコーダーだよ

|| 視聴覚教育あれこれ ||

● 本年度の市自作視聴覚教材完成

平成19年度の自作教材制作委員会が制作した小中学校用学習教材が完成しました。市内小中学校においては、2月に配布いたします。また、市内教育機関・団体についてはコピーサービスマも行いますので、ぜひご利用ください。

【VTR作品】

A班『サムライ三河武士プロジェクト』

あるベンチャー企業との挑戦』(中3社会)
従業員3人、資本金38万円という小規模な企業の生き残りをかけた戦略や思いをメッセージとして投げかけている作品である。

B班『パン工場ではたらく人びと』(小3社会)

パンができるまでの過程と働く人々の工夫や努力を学ぶことができる。郷土読本「おかざき」と併せて実体験に近い学習ができる作品である。

C班『自然が育てるおいしいお茶』

宮崎のお茶づくり』(小3社会)
四百年以上続けられているお茶づくりの様子を通して、お茶づくり農家のたゆまぬ努力がわかる作品である。

D班『里山に生きるトンボたち』

川の環境を守る』(小6理科)
絶滅危惧種に選定されているゲンバイトンボの特徴を通して、里山の川を守る人間の努力の

大切さを伝える作品である。

E班『Joyful English』

岡崎戦隊ミンレンジャー』(中2英語)
会話でよく使われる if that when because の4つの接続詞について学習する。ヒーローもののドラマ仕立ての作品である。

【マルチメディア作品】

F班『流れる水のはたらき』

岡崎の川を探検しよう』(小5理科)
実際の川での実験や観察の様子を動画や静止画で操作をしながら視聴でき、疑似体験できる作品である。

G班『地図博士になろう』(小3社会)

岡崎市の様々な地域の様子を見たり聞いたり疑似体験できるので、「市内たんけん」の単元で活用できる作品である。

● 新規購入機材の紹介

「デュプリケーター」

放映産業 DSR-7600dp-10」
デュプリケーターは、簡単な操作でCDやDVDを自動的に高速一括コピーできる装置です。今導入の機材は、最高速18倍速DVD-R書込み対応、同時に9枚コピーが可能なタイプです。昨年度からある3枚コピー可能なデュプリケーターに加えて、ぜひご利用ください。

